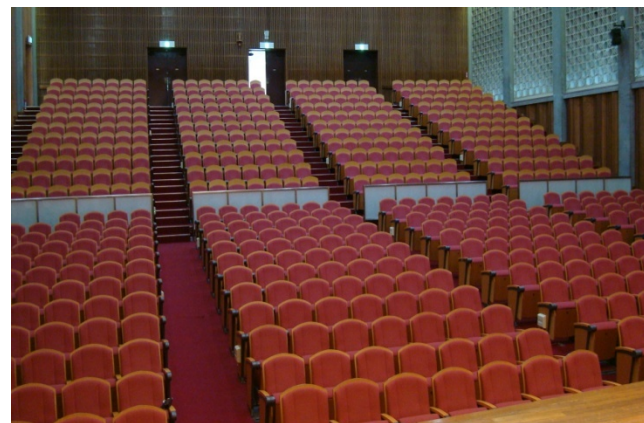


70周年記念講堂利用マニュアル



学生支援課生活支援グループ

はじめに

- 構造：鉄筋コンクリート造(小屋組鉄骨造)
- 規模：2階建
- 建築面積：2,577m² 延床面積：5,180m²
- 座席数：611席
- 竣工：1958 年頃
- 設計：谷口吉郎
- 施工：清水建設

講堂の予約について

- ・ 講堂の予約は原則として利用希望日の1年前から申請を受け付けます。

★空き状況は下記ページで確認出来ます。

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/extracurricular/organizations/>

- ・ 利用日時が決まりましたら、学生支援課まで下記をお知らせください。仮予約を行います。

利用希望日程、イベント内容、利用責任者名および連絡先アドレス

- ・ その後、利用者の内訳、団体名によって必要な申請書をご提出いただきます【→予約確定】

1. 講堂の入室

- 講堂には入口が4か所あり(正面入口、芝生側(スロープ)入口、楽屋裏入口、車寄せ入口)、それぞれの鍵は、学生支援課生活支援グループ(西8号館1階)で管理していますので、使用する方は、鍵を学生支援課まで取りに来てください。



楽屋裏入口



車寄せ入口



正面入口



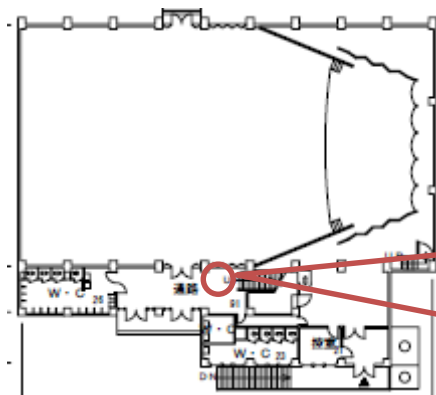
芝生側(スロープ側)
入口

2. 講堂内廊下の電気の付け方

- 講堂内地下1階廊下にある操作盤(A)(地階廊下及びトイレ等の電源)及び1階廊下にある操作盤(B)(1階廊下等の電源)のビニールテープ等で固定されている以外のレバーを「ON」にしてください。

使用終了後には元通りにスイッチを「OFF」にしてください。

講堂地下1階

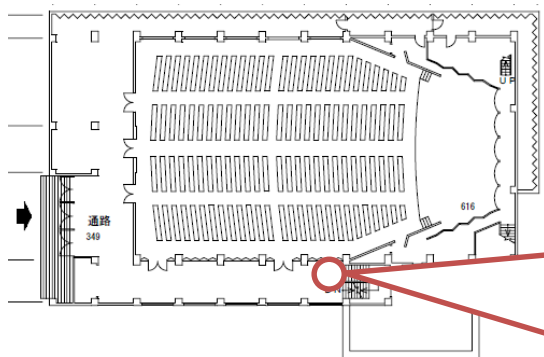


操作盤A(地階トイレ等)



このレバーをONに

講堂1階



操作盤B



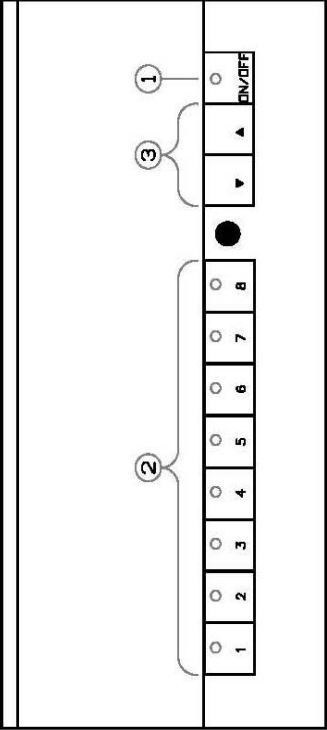
このレバーをONに

3. 舞台および客席の照明の付け方

- 舞台脇壁の照明用操作器で操作してください。
- 右端のON/OFFボタンで照明を点灯させ、前列から後列にかけて5つのパターンが設定されていますので、1～5のボタンから選択してください。スポットライトは付けると高温になりますので、絶対に触わないでください。
- ON/OFFの隣のボタンで調光が可能です。

舞台に立って左側にあります



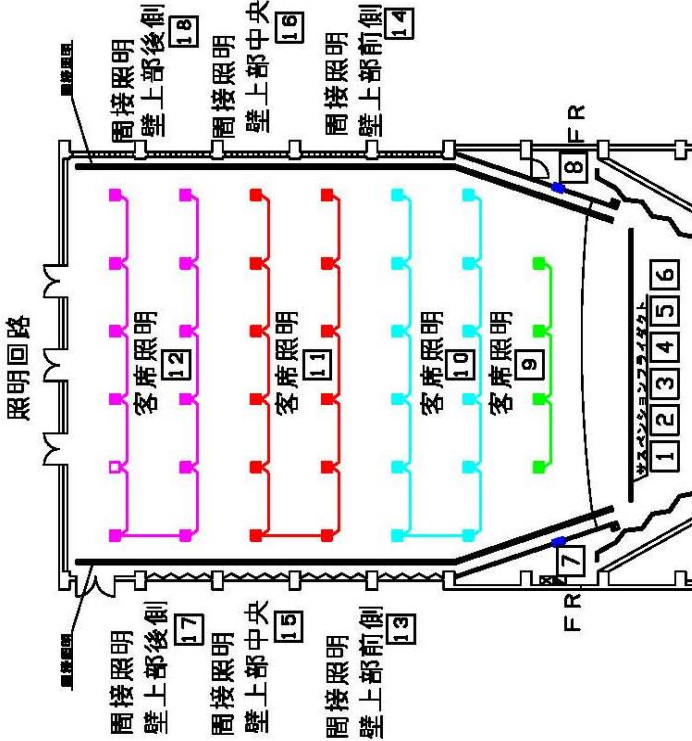


操作順	名称	説明
1	ON/OFF ①	操作器の使用/未使用を切替えます。 ON（使用）で表示LEDは赤になり、前回シーンの明りを出します。 ・OFF時（LEDは緑）でもシーン選択押釦操作で操作器の使用が可能となります。
2	シーン選択釦・表示LED ②	シーンを選択する釦です。選択されたシーンの照明が点灯します。（下記、明りの（登録シーン）の選択参照）
3	マスター調光釦 ③	点灯している照明の明るさを調節に使用します。（間接照明は除く）
4	ON/OFF ④	OFF（未使用）では表示LEDは緑になり、全消灯となります。

明かり（登録シーン）の選択

照明回路 シーン選択	舞台照明								客席照明				間接照明								説 明						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18									
1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	すべての明かりが点灯します。								
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	客席及び間接照明が点灯します。								
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	ヒンガッシュ使用時の設定です。								
4	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	客席のみ明るさが半減で点灯します。								
5	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	舞台照明のみ点灯します。								
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	未設定								
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	未設定								
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	未設定								
調光可能																				調光不可能							

●：点灯 ○：消灯



スポットライト使用上の注意

- コンセントは抜かないでください(抜くと火花が散ります)。
- 電源の入切は写真のブレーカースイッチで操作してください。
- 照明のON/OFFは舞台袖のスイッチで操作してください。



切の状態

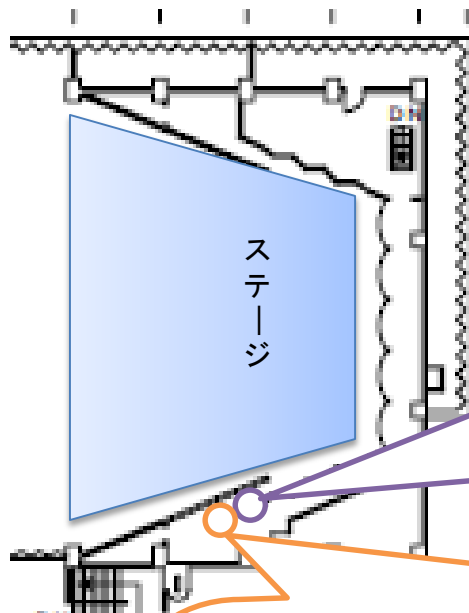


入の状態

4. マイクシステムと暗幕について

- 講堂では、ワイヤレスマイク6本、有線マイク2本、ピンマイク1本の計9本のマイクが使用できます。マイクの操作盤は、舞台脇1階のプロジェクター操作盤の隣にありますので、左側上部の「主電源」ボタンを押してください。これ以外のスイッチはさわらないでください。
- 暗幕の操作盤は、2階にあります。状況に応じて使用してください。

※マイクの音量テストは舞台上で行ってください。舞台ソデではマイク音量が確認できません。



窓用暗幕スイッチ 2階



音響システム操作盤 1階



①



②

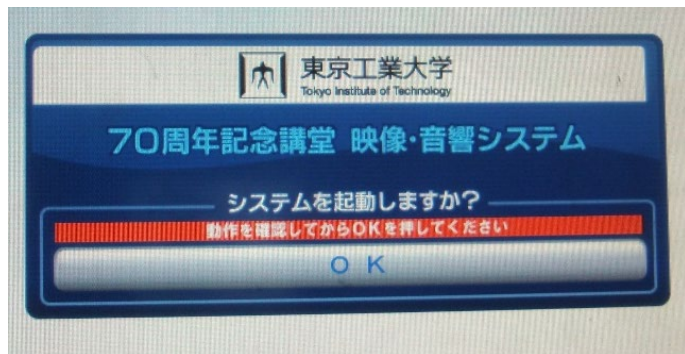


「①主電源」以外のスイッチは
さわらないでください。

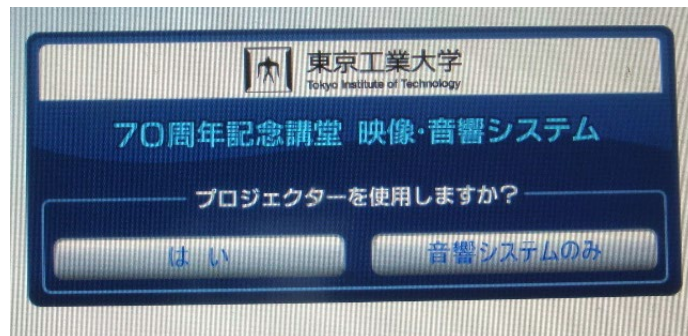
各マイクに対応したキーを上下
させて音量を調節してください。

・音響システムについて

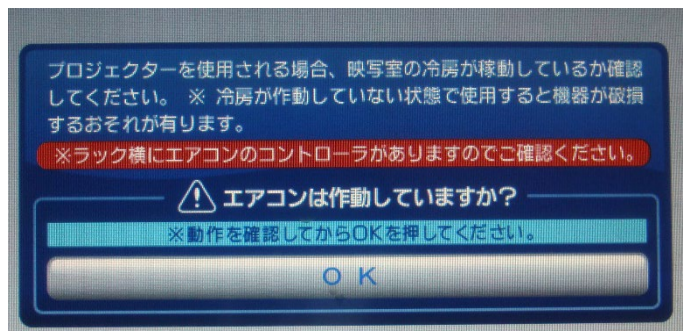
1. OKを押す



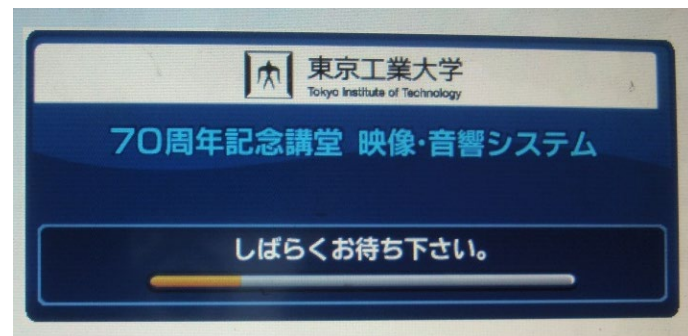
2. プロジェクターの使用の有無を選ぶ



3. エアコンの稼働確認画面



4. 起動画面



※PCのディスプレイケーブルの差し込み口は照明スイッチの下方にあります(舞台から見て左側の舞台袖)。

東京工業大学 70周年記念講堂 音声システム一式 機器接続状況

2015年 3月 更新

音響機器ラック(既設品)

パワーディストリビューター:LD2000

赤外線ワイヤレスチューナー:ATIR-R84

赤外線ワイヤレスチューナー:ATIR-R82(E)/(G)

オーディオミキサー:SRP-X100(既設品)

マルチプロセッサー:DriveRack260

①～④ ワイヤレスマイクA～D

⑤～⑧ ワイヤレスマイクE～F/G～H

オーディオミキサー:SRP-X100

ライブミキシングコンソール:M-200i(既設品)

音声分配器:MDA 3A(既設品/新設)

モニタースピーカー:MM-SPL2N

メモリ/CDレコーダー:SS-CDR200

カセット/CDデッキ:CC-222MKIV

引出ユニット(既設品)

外部入力パネル

パワーアンプ(正面SP):XTi2002

パワーアンプ(側面SP):XTi1002

パワーアンプ(送り返しSP):XTi1002

⑨⑩ CD

【4】 カセット/CD

【1】 マイク1/【2】 マイク2

【5】 外部入力

メモリを●から動かさないでください
(次ページ拡大図参照)



【1】 外部マイク1
【2】 外部マイク2

SCENE:001で保持

※音の状態が変わった場合、今回調整内容を呼び出し状態を戻すことができます。各入力や出力等の設定を呼び出しますが、各音量はフェーダーで合わせます。調整は「0dB」に合わせています。000:Hold...既設設定内容 001:Hold201503...新設設定内容

設定内容セーブデータ

呼び出し方法

- ① [SCENE]を押す
- ② [001:Hold201503]を選ぶ
- ③ [ENTER]を押す
- ④ [RECALL]を選ぶ
- ⑤ [ENTER]を押す
- ⑥ メッセージ画面で[ENTER]を押す



- ① ワイヤレスマイクA
- ② ワイヤレスマイクB
- ③ ワイヤレスマイクC
- ④ ワイヤレスマイクD
- ⑤ ワイヤレスマイクE
- ⑥ ワイヤレスマイクF
- ⑦ ワイヤレスマイクG
- ⑧ ワイヤレスマイクH
- ⑨ AV音量L
- ⑩ AV音量R
- ⑪ CD L
- ⑫ CD R
- ⑬ ステージ下手マイク
- ⑭ ステージ上手マイク
- ⑮ 音量
- ⑯ 音量
- ⑰ 音量
- ⑱ 音量
- ⑲ 音量
- ⑳ 音量
- ㉑ 音量
- ㉒ 音量
- ㉓ 音量
- ㉔ 音量
- ㉕ 音量
- ㉖ 音量
- ㉗ 音量
- ㉘ 音量
- ㉙ 音量
- ㉚ 音量
- ㉛ 音量
- ㉜ 音量
- ㉝ 音量
- ㉞ 音量
- ㉟ 音量
- ㊱ 音量
- ㊲ 音量
- ㊳ 音量
- ㊴ 音量
- ㊵ 音量
- ㊶ 音量
- ㊷ 音量
- ㊸ 音量
- ㊹ 音量
- ㊺ 音量
- ㊻ 音量
- ㊼ 音量
- ㊽ 音量
- ㊾ 音量
- ㊿ 音量

- ※ システム起動・終了操作は今まで通り、映同機器ラックのタッチパネルで操作して下さい。
- ※ CD(メモリ/CDレコーダー)、カセット(カセット/CDデッキ)は機器更新していますので、取扱詳細は各機器の説明書を御覧ください。
- ※ カセット/CDデッキは、カセット部のみ録音可能です。

【注意事項】

赤、白の各スイッチの目盛りは●印に合わせ、動かさないようにしてください。



5. プロジェクターの操作について

○メイン画面



○プロジェクター制御

- ・「電源ON」ボタンを押すとプロジェクターの電源が入ります。



- ・「電源OFF」ボタンを押すとプロジェクターの電源が切れます。

※プロジェクターの電源を切るとプロジェクターがクリーニング中になります。
クリーニング中はプロジェクターの再起動はできませんのでご注意ください。

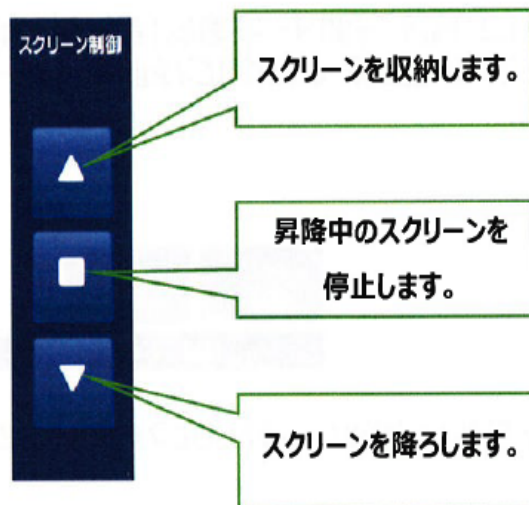


- ・「映像ミュート」ボタンを押すとプロジェクター投写映像がミュート(黒画面)になります。
投写再開の場合は再度「映像ミュート」ボタンを押して下さい。



○スクリーン制御

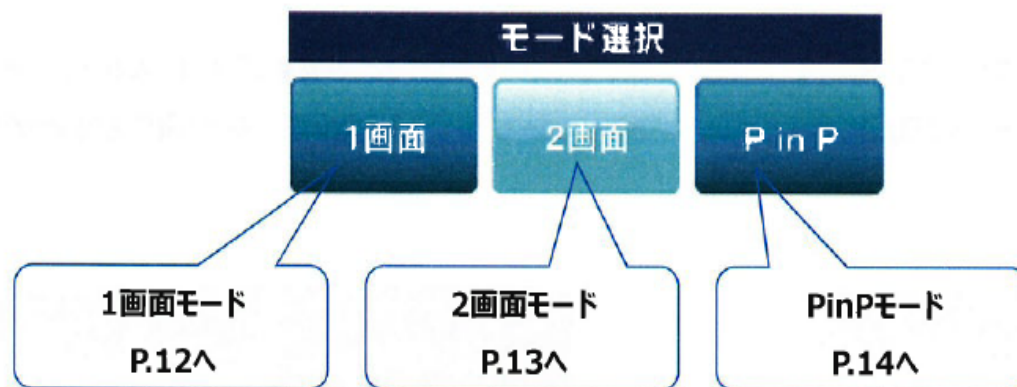
・プロジェクターを使用する場合は「スクリーン制御」ボタンにてスクリーンを降ろして下さい。



※   ボタンは一度押すと所定の位置まで動作を行い自動的に止まります。

○モード選択

・本システムはプロジェクター投写モードを3種類選択できます。



※起動時は1画面モードが選択されています。

※選択ボタンを押すと、モードの切り替えが行われます。

○モード選択(1画面モード)

・スクリーンには「投写信号選択」で選んだ映像が1画面のみ表示されます。



プロジェクターへ投写したい映像を選択します。

※押したボタンは色がつきます。



「プロジェクターへ送信」ボタンを押すことで、色の
ついている映像がプロジェクターから投写されます。

○モード選択(2画面モード)

・スクリーンの左右にそれぞれ選択した画面を表示します。

※画面を分割するため、1画面あたりの表示は小さくなります。



画面の左右で投写したい映像を選択します。

※押したボタンは色がつきます。

※Aがスクリーンの左画面、Bがスクリーンの右画面となります。



「プロジェクターへ送信」ボタンを押すことで、色のついている映像がプロジェクターから投写されます。

左右同時に投写されます。

○モード選択 (PinPモード)

- ・1画面表示の右下に、小画面を表示します。
- ・それぞれ選択した画面を表示します。

※小画面の表示箇所は右下のみで、画面の大きさも固定です。



画面の左右で投写したい映像を選択します。
押されたボタンは色がつきます。
※Aが親画面、Bが小画面となります。



「プロジェクターへ送信」ボタンを押すことで、色のついている映像がプロジェクターから投写されます。
両方の映像が同時に投写されます。

○モニター映像選択

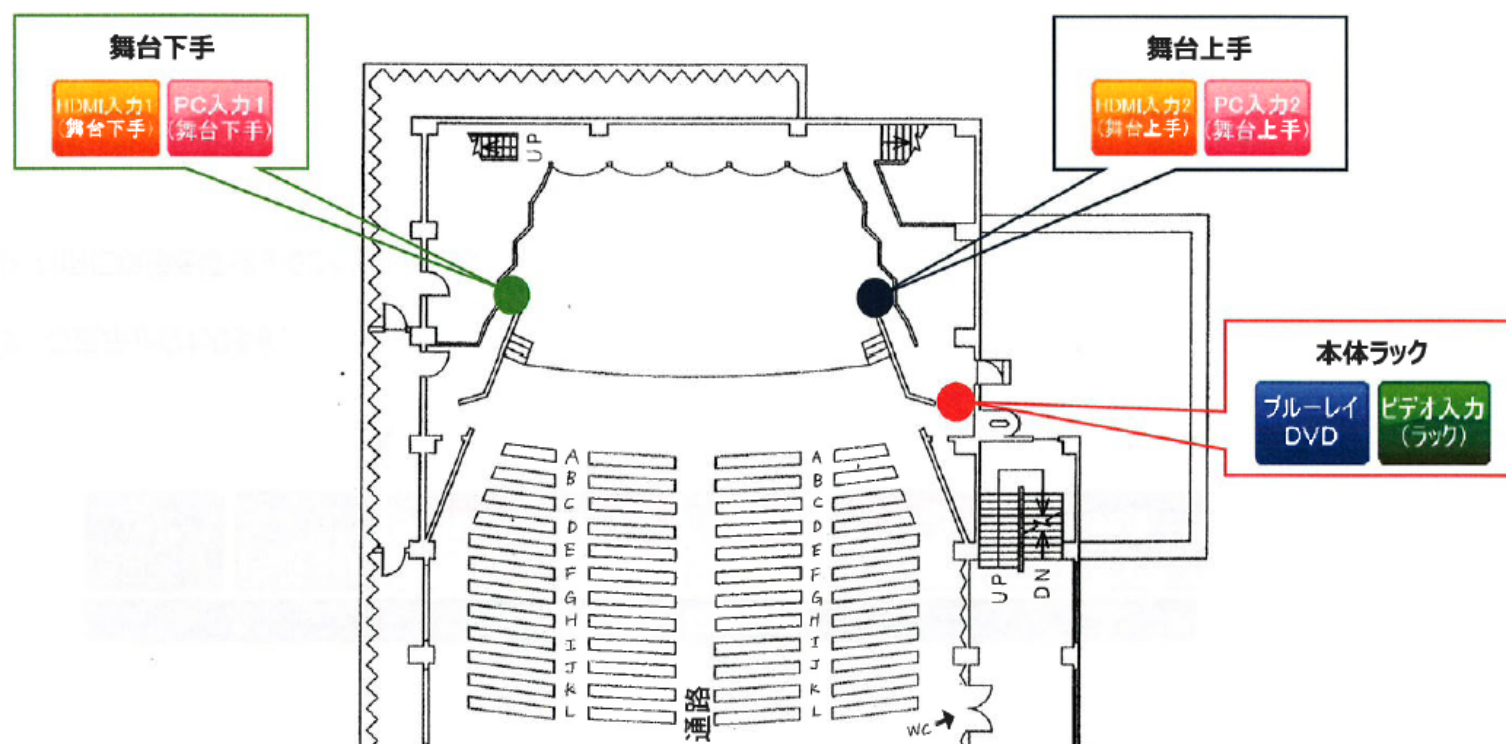
- ・ラック上部にあるモニターで現在の映像信号を確認できます。



- ・一度押すとモニターの表示が変わります。
- ・プロジェクターへ出力前に映像を確認することができます。

○接続位置

・ホールの各位置に接続場所があります。（簡易位置図で対応位置を表示します）



○音量調整

・音響の一斉操作がタッチパネルから可能です。

※タッチパネルからは一斉の操作のみとなります。

細かい調整は音響ラックのミキサーを操作して下さい。



現在の音量レベルを表示します。

全体の音量レベルを上げます。

全体の音量レベルを下げます。

音量をミュートにします。

再度押すとミュートを解除します。

○ブルーレイ／DVDコントロール

・ブルーレイ/DVDプレイヤーの操作がタッチパネルから可能です。

※再生はブルーレイとDVDに対応しています。



○終了確認画面

- ・「OK」ボタンを押すとシステムに電源が入り準備画面へ移ります。



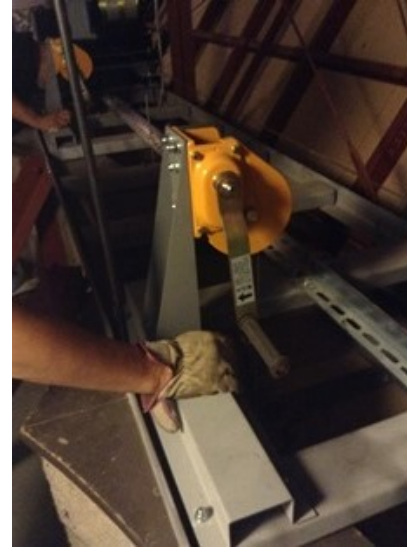
システムを終了する場合は「はい」を選択します。
「いいえ」を選択すると一つ前の画面に戻ります。

注：プロジェクターの電源が「ON」の状態ですべての「はい」を選択しシステムを終了すると、プロジェクター電源も「OFF」になります。

6. バトンの上下（垂れ幕等利用時）



舞台裏3階に上がったところ。
バトンを上下させる
レバーが4つあります。



手動で回転させるとワイヤが巻かれ、バトンが上下します。



バトンを舞台から見たところ。

7. 空調について

- 講堂内の空調機は毎年6月に冷房に、11月に暖房に切り替わります。(切り替え作業は施設運営部で行います、使用者は切り替えはできません。)
なお、温度調節等の機能はついていません。
- 空調機の操作盤は講堂正面入口から入って右手のクローク内にあります。以下の順番で操作してください。

- ①画面にタッチして、操作盤を画面に映し出す。
- ②「発停状態」にタッチする。
- ③「CH-1 ヒートポンプチラー」にタッチし、出てきた画面内の「運転」→「実行」→「戻る」の順番にそれぞれタッチしていく。
- ④「AHU-1講堂空調機運転」にタッチし、出てきた画面内の「運転」→「実行」→「戻る」の順番にそれぞれタッチしていく。
- ⑤「1Fファンコイル運転」にタッチし、出てきた画面内の「運転」→「実行」→「戻る」の順番にそれぞれタッチしていく。
- ⑥「2Fファンコイル運転」にタッチし、出てきた画面内の「運転」→「実行」→「戻る」の順番にそれぞれタッチしていく。

※1講堂使用後は、必ず⑥→⑤→④→③の順番でそれぞれ「停止」→「実行」→「戻る」を操作して、確実に空調の運転を停止してください。空調をつけたままにしておくと、故障につながる恐れもあり、これにより破損した場合は使用者側に弁償の責任を負っていただきますのでご注意ください。

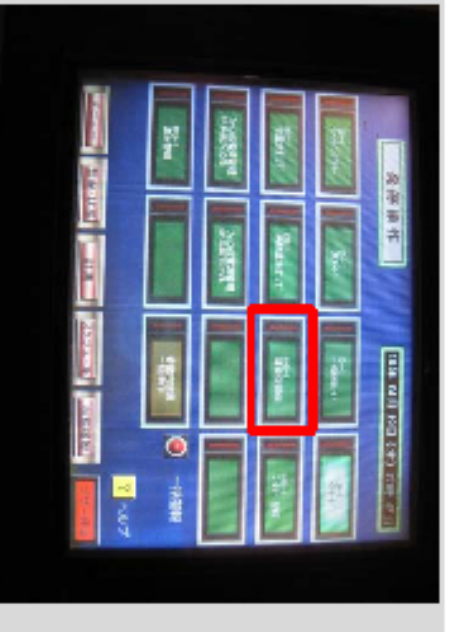
※2空調操作盤図解付きマニュアルが、クロークのカウンター上にもありますので、そちらもご覧ください。

70周年記念講堂送風運転手順

H30.4.23



- ①
メインメニュー
→「発停状態表示」を押す
※最初は省電力のために画面が暗く
なっていますが、画面のどこかをタッチ
すると表示されます。
※最初から発停状態表示の画面が
表示されていることがあります。その
場合は②へ。

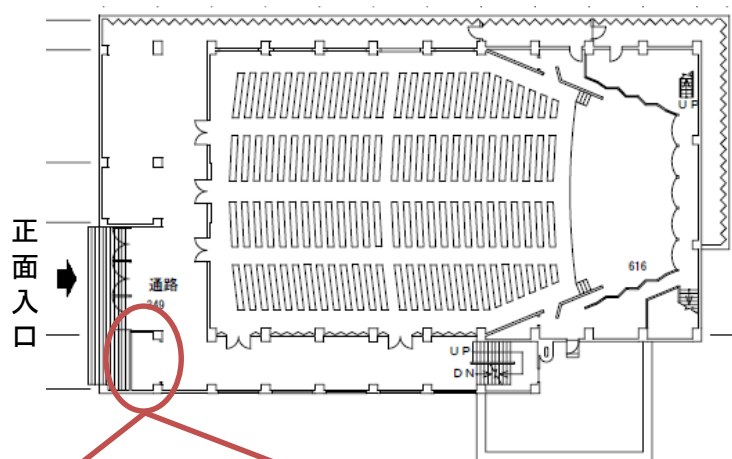


- ② 幾停状態表示
→「AHU-1 講堂空調機」を押す



- ③ 発停操作
→「運転」を押し、運転の赤いランプが点灯したことを確認してから「実行」を押す。AHU-1のランプが点灯するのを確認したら「戻る」を押す
- ※「運転」を押しただけでは運転開始しないため注意してください。「実行」を必ず押してください。
- ※停止の際は「停止」→「実行」の順に操作してください。

講堂1階



クローク



空調操作盤



8. その他

貸出品一覧

- ワイヤレスマイク 6本、ピンマイク 1本
- マイクスタンド(長、短) 各1本
- HDMIケーブル(長、短) 各1本

以上は学生支援課窓口にて貸し出します。

- ディスプレイケーブル 3本

(楽屋裏のケースに入っています)

※楽屋裏にある椅子、花台等のご自由にお使いください。

注意事項

- 講堂は、学外の方も使用していますので、丁寧に利用してください。使用後の後片付けやゴミの処理もお願いします。
- その他利用に関して不明な点は、学生支援課でご連絡ください。(TEL: 03-5734-3015)